

2021年度 大学入学共通テスト【第2日程(1月30日・31日)】

英語(リーディング) [分析]

形式は第1日程と同様であった。

大問数、マーク数、配点等はすべて第1日程と同じであった。また、第1日程と同様、第2問と第3問でイギリス英語が出題された。

難易度(【第1日程(1月16日・17日)】との比較)

第1日程並み

第1日程と同様、複数の箇所を参照しなければ正解にたどりつけない設問が多く、解答するにあたっては第1日程と同程度の時間と手間がかかったと思われる。

出題分量(【第1日程(1月16日・17日)】との比較)

総語数は5,311語でほぼ第1日程並み。(第1日程は5,478語)。問題数・マーク数は第1日程と同じ。

出題傾向分析(【第1日程(1月16日・17日)】との比較)

第2問Aで、いわゆる「本文」がなく、3つの表だけを読み取らせる問題が出題された。これは試行調査にも第1日程にもなかった問題形式である。第6問Aの間3で、設問内で記事の要約を提示し、そこに設けられた空欄を埋めるという、第1日程でも見られなかった新傾向の問題が出題された。

2021年度【第2日程(1月30日・31日)】フレーム

大問	分野	配点	マーク数
第1問	A 読解問題(携帯メールのやり取り)	10	2
	B 読解問題(ウェブサイト)		3
第2問	A 読解問題(調査結果の集計)	20	5
	B 読解問題(講座案内)		5
第3問	A 読解問題(ブログ)	15	2
	B 読解問題(雑誌記事)		6
第4問	読解問題(図表とEメールのやり取り、および発表用の下書き)	16	6
第5問	読解問題(伝記)	15	9
第6問	A 読解問題(論説文)	24	4
	B 読解問題(論説文とポスター)		5
合計		100	47

2021年度【第1日程(1月16日・17日)】フレーム

大問	分野	配点	マーク数
第1問	A 読解問題(携帯メールのやり取り)	10	2
	B 読解問題(ウェブサイト)		3
第2問	A 読解問題(評価表)	20	5
	B 読解問題(オンライン掲示板)		5
第3問	A 読解問題(ウェブサイト上のQ&A)	15	2
	B 読解問題(学校新聞)		6
第4問	読解問題(Eメールのやり取り)	16	6
第5問	読解問題(ニュース記事)	15	9
第6問	A 読解問題(記事とポスター)	24	4
	B 読解問題(論説文)		5
合計		100	47

設問別分析

第1問

A、Bともに第1日程の形式に近い。Aは、キャンプに誘った友人からの、持ち物などに関する質問に対して返信するという携帯メールのやり取りを読んで、2つの問いに答える問題。問2は「やり取りに続いてどのような行動をとったのか」という推測力を問う新傾向の問題で、第1日程でも出題されていた。Bは、スピーチコンテストの参加者募集のチラシを見て、入会の手続きや会員特典に関する情報を読み取って3つの問いに答える問題。問2と問3はチラシにある表の中の数値の読み取りが問われている。

第2問

Aは、「使い捨てのボトルと再利用可能なボトルについての調査」における質問3つとそれぞれの回答の集計結果を読み、5つの問いに答える問題。第1日程と同様、「事実」と「意見」を区別する問題が1問ずつ出題された。第1問Aと同様、数値の読み取りを問う設問もあった。回答の集計結果から回答者がどのような考えを持っているかを推測させる問いも問5で出題された。Bは、「英国のサマープログラムの講座案内」とこの講座に参加した人のコメントを読んで、5つの問いに答える問題。講座内容に関する「事実」を選択する問題とコメントにある「意見」を選択する問題が1問ずつ出題された。

第3問

Aは、「遊園地を訪れたこと」に関する遊園地の案内図付きのブログの記事を読んで、2つの問いに答える問題。問2は、遊園地の案内図と本文の情報から判断する必要がある。Bは、あるミュージシャンに関する雑誌記事を読み、3つの問いに答える問題。問1では第1日程同様、出来事が起きた順番を問う問題が出題された。

第4問

「日本の観光」についてグループ発表をすることになる仲間のクラスメートに、メールで「日本の訪問者の滞在日数」に関するグラフと「国別の訪問者が日本訪問中に何をしたか」に関する表を送り、それに対する2連の返信メールを読んで5つの問いに答える問題。問いは発表用の下書きメモの中の空欄を埋める形で答える。4つの選択肢から2つの組み合わせを選ばせる問題が出題された。解答を得るには、メモの内容とメールおよびグラフと表の内容を理解し、総合的に判断する必要がある。

第5問

「死後知られるようになった写真家ヴィヴィアン・マイヤー」に関する本文を読み、発表用のメモを完成させる問題。問3は、出来事を起きた順に並べる問題。第1日程で出題された、登場人物の整理をさせる問題は出題されなかった。

第6問

Aは、「英国ロイヤルシェイクスピアカンパニーに見られる近年の変化」に関するオンライン雑誌の記事を読み、4つの問いに答える問題。設問内で記事の要約を提示し、そこに設けられた空欄を埋めるという、第1日程でも見られなかった新傾向の問題が問3で出題された。Bは、「地域社会によりよい口内健康をもたらすために」と題されたポスター発表をするために、「口内健康」に関する文章を読み、ポスターにその内容をまとめ、ポスター内の空欄4か所を埋める問題。ポスターの内容に最も合うグラフを選ぶ問いが出題された。

過去平均点の推移

21年度※ 【第1日程】 (1月16日・17日)	20年度	19年度	18年度	17年度
58.8	116.3	123.3	123.8	123.7

※2021年度の平均点は1/22大学入試センター発表の中間集計その2の平均点です。

※2020年度までの平均点は200点満点、2021年度の平均点は100点満点で掲載しています。